

クローズ型サウンディング開催のご案内

かがわPPP/PFI地域プラットフォームは、香川県内の地方公共団体が民間活用等を検討する個別案件のクローズ型サウンディングを開催します。対象案件にご興味のある事業者さまを募集します。

【サウンディング案件一覧】

香川県 開催日：2025年 2月13日（木）

① 高松港シーフロントpromナード緑地の利活用について（港湾課）

概要：高松港シーフロントpromナード緑地の効果的な利活用方法の検討

高松市 開催日：2025年 2月19日（水）・27日（木）

② 既存の資産・資源等を生かした「香南アグリーム」施設の利活用について（農林水産課）

概要：施設の民間活用による財政負担の軽減と、魅力的な施設として再生して運営が行える可能性

③ 市有施設への効果的な再生可能エネルギー導入手法について（ゼロカーボンシティ推進課）

概要：市有公共施設への太陽光発電や他の再エネについての導入検討

坂出市 開催日：2025年 2月20日（木）

④ 旧沙弥小・中学校の利活用について（財務課）

概要：平成22年に廃校となっている施設の利活用方法の検討

⑤ ネーミングライツ候補施設等の検討について（財務課）

概要：坂出市内3施設のネーミングライツの導入検討

さぬき市 開催日：2025年 2月25日（火）

⑥ さぬき市バスストップ駐車場及び市民病院駐車場の有料化について

（都市整備課、市民病院、プロジェクト推進室）

概要：3つの各駐車場の有料化の実現可能性

【参加対象】

対象案件の活用に興味のある民間事業者（香川県内外問わず）

【開催形式】

対面開催またはオンライン形式（対面の場合は対象の地方公共団体の会議室を予定）

【申込方法】

締切：開催日の7日前まで

申請フォームに必要事項を入力の上送信。

事務局にて受付確認次第、対象地方公共団体と対話の時間を調整させていただきます。

案件の詳細説明は別紙記載（P3）

【お問い合わせ先・参加申込先】

株式会社百十四銀行 地域創生部（担当：大森・入船）

TEL: 087-836-2985 E-mail: ppp@114bank.co.jp

【主催】 かがわPPP/PFI地域プラットフォーム

（代表：百十四銀行、香川県、高松市、日本政策投資銀行）

参加申込について

【お申込みの流れ】

- ①希望する案件の面談希望日・希望時間・面談方法（対面・オンライン）を選択
・面談可能日は、**可能な限り複数時間帯をご選択ください**。
- ②お申込みいただいた内容に沿って、事務局と対象自治体との間で日程調整を実施
- ③面談日が確定次第、事務局よりご連絡します（目安：受付から2営業日以内）

下記のかがわPPP/PFI地域プラットフォーム特設ページより
必要事項を記入のうえ、申請をお願いします。

<https://www.114bank.co.jp/ppp-kagawa/>



【留意点】

- ・1面談あたり最長60分程度
- ・面談日時は先着順で確定
- ・申込〆切は**対話実施日の7日前**まで
- ・面談候補日は募集開始時点の候補日であり、事前予告なく変更となる場合もございます



【社名・団体情報及び個人情報の取り扱いについて】

本申込書にご記載いただく社名・団体情報及び個人情報については、かがわPPP/PFI地域プラットフォームへ併せて登録させていただきます。今回の地域プラットフォームに関するご連絡・運営、および今後開催する地域プラットフォームのご案内に使用し、ご本人の承諾がない限り、その他目的以外の使用、並びに運営者以外の第三者へ提供することはありません。

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

—案件 1【香川県】—

案件名	高松港シーフロントプロムナード緑地の利活用について
地方公共団体名	香川県 港湾課
案件概要	あなぶきアリーナ香川などの整備が進むサンポート高松地区におけるにぎわい創出に向け、高松港（高松市サンポート）に所在の県有施設である「高松港シーフロントプロムナード緑地（赤色枠）」の効果的な利活用方法について意見やアイデアをお伺いしたい。  ＜施設概要＞ 【面積】6,500㎡ 【延長】251m 【用途地域】準工業地域 （建ぺい率60%、容積率200%） 【港湾法分区】商港区（臨港地区） ＜沿革＞ 1967年（昭和42年） 公有水面埋立 1997年（平成9年）～2000年（平成12年） 香川県において土地購入 2008年（平成20年） 香川県において緑地整備 ＜その他（制約等）＞ - あなぶきアリーナ香川や新設ホテル及び海からの景観に配慮を要する。 - あなぶきアリーナ香川で実施するイベントに敷地及び建築物の一部を利用したり、利用を前提とした整備が必要となる可能性がある。 - 周辺で実施するイベントと連携した事業活動が求められる。
民間事業者 に 聞きたいこと	- 民間事業者の効果的な利活用方法 - 海辺に面する環境条件等の景観要素を生かした利活用 - 飲食店の設置など対象地において求められるニーズの見込 - 周辺施設との連携 （高松港ハーバープロムナード、高松港フェリー乗り場、客船乗り場、高松駅ビル、あなぶきアリーナ香川等） - 官民の分担への意見（民設民営、公設民営等） - 事業スキーム（定期借地権、貸付、公民連携＜PPP・PFI等＞、港湾環境整備計画制度（みなと緑地PPP））等 - シーフロントプロムナード緑地に隣接する港湾緑地第2・第3駐車場（黄色枠）敷地を含めた場合の活用方法（駐車場を廃止し、一体整備することも含む） - 活用する場合に想定する事業期間
ホームページ 詳細資料	有 補足資料

—案件2【高松市】—

案件名	既存の資産・資源等を生かした「香南アグリーム」施設の利活用について
地方公共団体名	高松市 農林水産課
案件概要	魅力ある農業を構築する施策の一環として、農家と関係機関が一体となって特色ある地域農業を形成、推進する農業の拠点施設として平成14年度に整備された「香南産地形成促進施設（香南アグリーム）」は高松空港に隣接して広がる広陵地帯に施設整備を行い、指定管理者制度の導入により、平成18年度以来、有限会社香南町農業振興公社が管理・運営を行っている。 現在、施設では、農業体験講座、料理体験教室、イベント等の開催により、都市住民との交流やグリーン・ツーリズムの推進など、市民の交流を図る施設として機能を果たしているものの、近年の生産資材費の高騰や条例に基づく制約条件もあり、厳しい経営状況が続いている。また、施設設置から22年が経過しようとし（H14.6.23設立）、施設の老朽化に伴う修繕費も増加している。 さらに、当施設は高松空港に隣接し、高松市中心部から車で約30分という立地条件もあり、近年では、県外からの団体客やインバウンド客など、利用者の属性も広がってきているものの、整備やプロモーションが行き届かず、施設のポテンシャルを十分に生かし切れていない。 これらの問題を、施設の民間活用により財政負担の軽減を図るとともに、民間事業者のノウハウ・アイデアにより、魅力的な施設として再生し、有効的な運営が行える可能性について確認を行うもの。
民間事業者に聞きたいこと	- 具体的なビジネスアイデアの提案 - ビジネスアイデアを展開するに当たり、官民連携手法としてどのような手法が想定され得るか。また、どの手法が適しているか。 - ビジネスアイデアを展開するに当たり、高松市に求める必要な整備内容等について - 官民連携する場合の条件や課題について - 既存の栽培ハウスの観光農園としての活用方法について
ホームページ 詳細資料	有 香南アグリーム施設の利活用

—案件3【高松市】—

案件名	市有施設への効果的な再生可能エネルギー導入手法について
地方公共団体名	高松市 ゼロカーボンシティ推進課
案件概要	【背景】 国は地域脱炭素ロードマップにおいて「自治体の建築物及び土地では、2030年には設置可能な建築物等の約50%に太陽光発電設備が導入され、2040年には100%導入されていることを目指す。」としています。 このような中、高松市は、ゼロカーボンシティの実現を目指し、基本施策の一つに再生可能エネルギーの普及促進を位置付け、重点取組として、公共施設への太陽光発電の導入に取り組むこととしています。 再生可能エネルギーの導入手法については、施設の規模や立地条件などにより、様々な選択肢が取れる中、効果的に導入を行うために、事業者の皆様から、専門的な知見や技術に基づく提案を求めるものです。 【再エネ導入候補施設】 ① 自己所有・リース方式・オンサイトPPA方式の場合 本市が令和5年度に実施した、太陽光発電設備等の導入調査結果から、導入可能性の高い以下の施設を候補施設とします。 ・ 国分寺総合センター ・ 斎場公園 ※ 上記以外の施設についても、導入可能性が高いと思われる施設がありましたら、提案してください。提案に当たり、図面データ等が必要な場合は、高松市ゼロカーボンシティ推進課まで直接お問い合わせください。 ② オフサイトPPA方式の場合 市役所本庁舎を始めとする、電力需要の大きい市有施設（群）を供給先の候補施設とします。発電所の設置場所も含めて提案してください。 【導入する再エネの種類や事業実施方式】 ・ 太陽光だけに限らず、風力やバイオマスなど、活用可能な再エネについて広く対象とします。 ・ オフサイトPPA方式も含め、採算性のある提案を募集します。
民間事業者 に聞きたいこと	- 提案する事業等の概要について - 再エネ発電に係る事業実施方式や導入設備、規模等 - 運営主体や体制、実施箇所の候補地や施設・範囲等 - 導入経費やランニングコスト、採算性の提示等 - スケジュールについて準備する - 期間や事業継続期間等 - 事業実施にあたり必要な条件について - 事業参入への条件等
ホームページ 詳細資料	有 - 電力消費量の多い市有施設一覧 - 太陽光発電設備設置済及び設置可能市有施設一覧

—案件 4【坂出市】—

案件名	旧沙弥小・中学校の利活用について
地方公共団体名	坂出市 総務部財務課
案件概要	沙弥小・中学校は、昭和 5 3 年建築で平成 1 7 年から休校、平成 2 2 年から廃校となっている。目の前に多島美が広がり、風光明媚な場所に位置しており、廃校後も 3 年に 1 度開催される瀬戸内国際芸術祭の会場に令和4年まで使用され現在に至っている。 老朽化が目立ってきており、今後の当該施設の有効活用について検討しており、坂出市としては、まず、その素晴らしい景観を生かし、カフェや飲食店に利用できないかと考えている。そのため旧沙弥小・中学校の建築方法、有効活用方法を民間事業者からアイデア・意見を求め、可能性を探ることを目的としている。 【施設概要】 建築年 1978年（昭和53年） 所在地 坂出市沙弥島152番地 構造 鉄筋コンクリート 平屋建 延床面積 小学校 314.27㎡ 中学校 77.40㎡
民間事業者に聞きたいこと	【前提条件】 ・ カフェ・飲食店を想定 ・ 現在の建物を活かしたリノベーションでの建築 ・ 香川県指定史跡の範囲内であり、文化財保護法、香川県文化財保護条例、国立公園にあたるため自然公園法の規定に則ることが必要 ・ 遺跡の保存活用に資することが必要 ・ 既存の浄化槽が単独浄化槽、給排水管設備の老朽化などの建築に影響する条件がある 【質問】 上記の前提条件で旧沙弥小・中学校を活用する建築方法があるのか、また、カフェや飲食店以外の活用方法があればご提示いただきたい。
ホームページ 詳細資料	有 ・ 旧沙弥小・中学校の利活用について

—案件 5【坂出市】—

案件名	ネーミングライツ候補施設等の検討について
地方公共団体名	坂出市 総務部財務課
案件概要	財源確保や、地域経済の活性化、施設の利用者数の増加等に係る取組の 1 つとして、公共施設等のネーミングライツ導入の可能性を調査し、ネーミングライツの対象施設等の候補、条件等を検討するもの。
民間事業者に聞きたいこと	【質問】 想定対象施設（その他も含む）に対するご意見 ・ ネーミングライツ料 ・ 契約年数 ・ 付与したい付帯特典 ・ その他 【想定対象施設】 1. 坂出市立体育館 所在地：坂出市入船町二丁目 1 番59号 延床面積：6,855.363㎡ 2. 坂出市民ホール 所在地：坂出市京町二丁目 1 番 1 3 号 延床面積：2,328㎡ 3. 田尾坂公園 所在地：坂出市八幡町三丁目2360番1号 敷地面積：7,063㎡ 4. その他の施設 1～3 以外で候補になる施設がありましたら、ご提示いただきたい。
ホームページ 詳細資料	有 ・ サウンディング画像・位置図

—案件 6【さぬき市】—

案件名	さぬき市バスストップ駐車場及び市民病院駐車場の有料化について
地方公共団体名	さぬき市（建設経済部都市整備課、市民病院、プロジェクト推進室）
案件概要	【背景】 さぬき市は、主に京阪神方面にアクセスする高速バスに乗車する住民等のために、志度、津田の2か所の無料駐車場を設置し運営を行っている。このうち志度バスストップ駐車場は隣接する2か所に計75台の駐車台数を確保しており、利用状況は、概ね平日が5割程度、休日はほぼ満車状態となっている。 一方、津田バスストップ駐車場は、上り線側、下り線側に各1か所あり、それぞれ94台、52台、計146台の駐車が可能となっている。ただ、両駐車場は、津田の松原サービスエリア利用客用駐車場を兼ねていることから純粋なバスストップ駐車場としての利用状況の把握が難しいが、いずれの駐車場に駐車してもバスに往復乗車した場合、乗車時又は降車時に10分以上の歩行を要することから、日によって利用状況に相当なばらつきがある。 両駐車場ともに、近隣の三木、大内、引田と同様、これまで無料駐車場として運営を行って来たが、設置目的が旅行のために車両を一定期間留め置くためのもので明らかに特定の者がその恩恵をこうむるものであるため、公平性の観点から受益者の負担を求めることの妥当性がある。こうしたことから、今回近年の本市の逼迫した財政状況にも鑑み、両駐車場の有料化について検討を行うこととした。その際、市が直接にその運営を担うのではなく、指定管理又は賃貸借等により、豊富なノウハウを有する民間企業との連携による運営形態を選択したいと考えている。さらに、これら2つの駐車場とともに、本市寒川町石田東地区に位置するさぬき市民病院駐車場についても同様の形態での有料化の検討を進めたい。 なお、留意事項として、津田バスストップ上り線側駐車場は、津田の松原サービスエリアの利用客に対して無料駐車を一定時間認める必要があること、公道から複数のアクセスポイントがあることから管理に工夫を要する。 また、志度バスストップ駐車場は、現在、トイレや周辺の草刈等の管理をシルバー人材センターに委託しており、その管理を行う必要がある。 さらに、両駐車場とも有料化により路上駐車が増加する可能性があり、周辺交通への影響が懸念されるため、その対策を併せてお示しいただきたい。（志度バスストップ駐車場の内、西側の50区画の駐車場は、路上駐車が多く周辺交通に影響が出ていたことが大きな理由で整備） さぬき市民病院駐車場については、付添い、お見舞いに訪れる方への通常範囲の無料駐車を認める必要があるとともに、複数箇所ある駐車場の出入口に対する設備整備を慎重に検討する必要があるほか、病院入口にはコミュニティバス及び民間のバス停があり、運行に支障がないような工夫を要する。
民間事業者に聞きたいこと	・ 民間のノウハウを生かした3つの各駐車場の有料化の実現可能性 ・ 実現可能性がある場合における市との契約形態及び市が受け取ることができる年間収入見込額 ・ 各駐車場の運営においてトラブルを回避し円滑に行っていくための独自提案
ホームページ詳細資料	有 ・ 補足資料（位置図及び配置図、施設外観写真 等）